

市民の皆さまの大切な税金を有効に使うために・・・



議会事業評価結果 の対応について



令和6年9月に議会事業評価を行い、市へ事業評価の審査結果を報告しました。今号では、今後の取り組み方と提言に対する市の方針、方向性についてお知らせします。議会から市へ提出した事業評価の内容は、市議会ホームページからご確認いただけます。



議会事業評価の結果へ

主要事業：シティプロモーション推進事業

総務委員会所管分

今後の取り組み方と提言1	住民が「住み続けたい」と感じる理由は、世代やライフスタイルによって異なることから、特に若年層や子育て世代に対しては、雇用機会や教育環境の充実が必要であり、高齢者に対しては、住環境の整備や生きがいを持てる場の提供が重要である。これらの施策を同時に進め、より具体的に発信を行っていただきたい。
市からの回答	若い世代の定住人口を獲得するため、39歳以下の子育て世代をコアターゲットとして、子育て施策に力を入れていることを認知してもらえるようなプロモーションを推進するとともに、働く場所・教育環境が充実していることや、仕事と家庭の両立を支援する『はたらく親を応援するまち』の取組を様々なプロモーション手法を活用して発信します。また、本市の住環境(住みやすさ)の強みとして、①買い物に便利、②交通の便がよい、③緑や田園が多く自然環境がよいことがあげられるため、高齢者も含め、これらの強みを積極的に発信することで半田市の住環境(住みやすさ)のアピールに繋がります。現在、半田市の中心市街地では、暮らしの場、消費の場、働く場として選ばれる、多様な使い方・目的のあるまちとなり、居住や商業、行政などの機能を集約し、公共交通などで周辺地域を結び、効率的で便利な移動を実現する「チャレンジできる」「実現できる」まちづくりを進めていることから、これらの取組も関連部局と連携しながら情報の発信に努めます。

主要事業：コミュニティ・スクール推進事業

文教厚生委員会所管分

今後の取り組み方と提言1	学校運営協議会、PTA、学校地域協働支援員など、それぞれの組織の位置づけや役割を整理していただきたい。
市からの回答	学校運営協議会、PTA、学校地域協働支援員などの位置づけや役割については、分かりやすく整理し、周知・広報に努めます。
今後の取り組み方と提言2	各学校に対して先進的な取組みや事例を共有することで活動の活性化を促進し、同時に、半田市としてコミュニティ・スクール事業のあるべき姿・ビジョンを明確に指し示すことで、学校と地域住民等が「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有できるようにしていただきたい。
市からの回答	先進的な取組み・事例の共有については、各学校の担当教員や地域代表が集まる学校運営協議会連絡会(以下「連絡会」)などを通じて行っているところですが、今後、さらなる充実に努めます。また、事業のビジョン等についても連絡会などを通じて周知を図ります。 なお、各学校・地域における実現目標等については、各学校・地域において、それぞれの課題や協働手法等について熟議する中で共有されていくものと考えますので、市としてしっかりサポートできるよう努めます。